

第65回接続料の算定等に関する研究会 当社ご説明資料

2022/11/30

ソフトバンク株式会社

1. 接続料等と利用者料金の関係の検証対象に関する3要件

各要件について、実態も踏まえ次頁以降で考察

p.3,4

- ① 指定事業者が現に提供しているサービス・料金プランのうち、その料金の月額相当額が、競争事業者が現に提供する**同等のサービス等の料金の月額相当額と近接**

p.5

- ② 「競争事業者から指定事業者へ**継続的に利用者が移行していることが定量的に明らかである場合**」や、「競争事業者が①に示すサービス等と**同等の価格で競合サービス等を提供することが困難**であることが立証出来る場合」など、具体的課題に基づくMVNOからの申告

p.6

- ③ 接続料算定研究会で検証を行う合理性が認められたもの

2. 前回MVNOより検証要望のあった当社プランについて

検証要望を受けた当社サービスは以下のとおりと理解

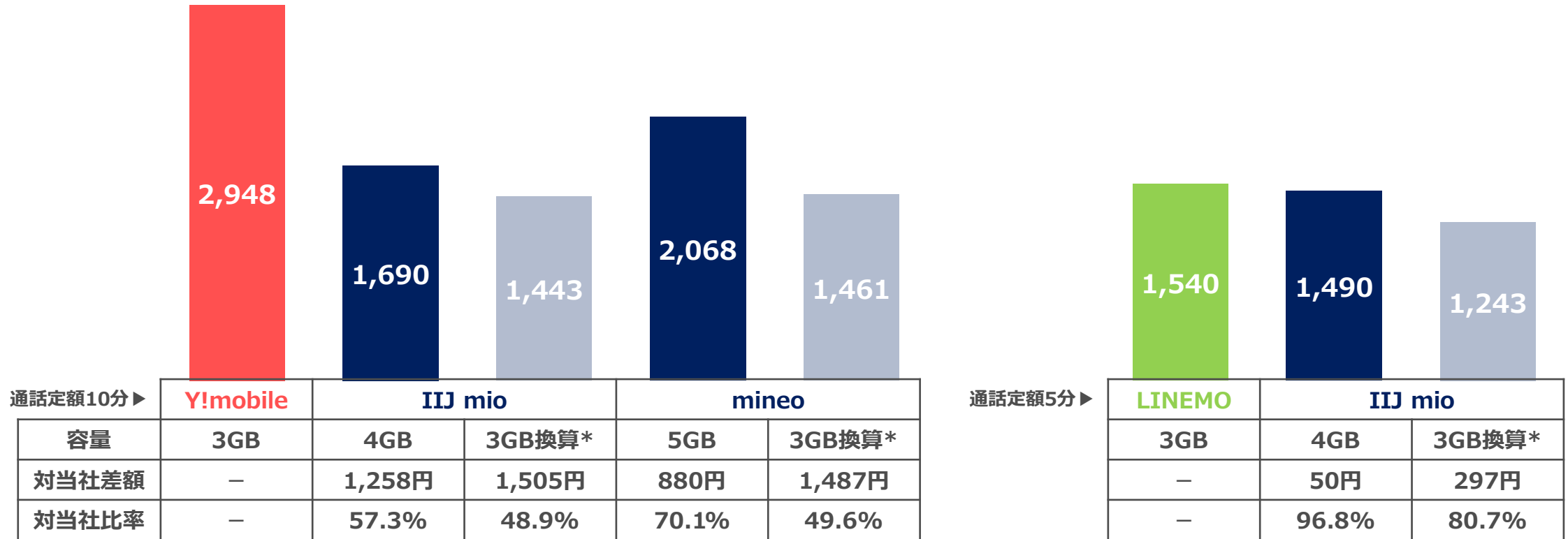
	MVNO委員会様	IIJ様	オプテージ様
前回の主張抜粋	サブブランドや廉価プランをスタックテストの対象とすることを要望	具体的には各社の月間通信容量が20GB以下のプランを要望	検証要望プランを具体的に記載 ・Y!mobile 3GBプラン ・UQmobile 3GBプラン ・ahamo 20GBプラン
該当する当社プラン	Y!mobile 3GBプラン,15GBプラン LINEMO 3GBプラン,20GBプラン	Y!mobile 3GBプラン,15GBプラン LINEMO 3GBプラン,20GBプラン	Y!mobile 3GBプラン

3. 料金近接について①(低容量帯)

LINEMO (3GB) プランは料金近接の可能性あり
 Y!mobile (3GB) プランは一定の料金乖離が認められるため検証不要

【データ基本料+通話定額(税込)】

(円/月)



*データ基本料を3GBに換算したものと通話定額の合計により弊社試算

3. 料金近接について②(中容量帯)

Y!mobile (15GB)、LINEMO (20GB) とも、
一定の料金乖離が認められるため検証不要

【データ基本料+通話定額(税込)】

(円/月)



検証単位はMNOプラン毎であることから、
MVNO各プラン毎にMNOプラン別転出割合及び数を提示し、
それらの情報を踏まえ検証対象とすべきか総合的にご判断いただきたい

MVNOの料金プランとMNOの廉価プラン及びサブブランド間の課題について



- 当社サービスからMNOの廉価プラン及びサブブランドに転出している割合は毎月一定の割合で存在
今年度に入ってからはその割合は増加傾向であり深刻さは益々増加している

構成員限り

※接続料の算定等に関する研究会(第64回)「資料64-9 株式会社インターネットイニシアティブ説明資料」より抜粋

弊社サービス (mineo) の主な転出先割合

1

- 弊社では他社へ転出されるユーザーに対し、転出先等に関するアンケートを実施。
- 2022年4～9月までのアンケート結果において、全体としてサブブランドおよびオンライン専用プランへの転出割合が継続的に高い水準。

構成員限り

※接続料の算定等に関する研究会(第64回)「資料64-10 株式会社オプテージ説明資料」より抜粋

5. 当社と直接卸・接続契約関係のないMVNOからの要望

直接契約関係にないMVNOからの検証要望の合理性判断にあたっては、当該MVNOの原価と異なるMNOの接続料が検証対象となる点を踏まえた慎重な議論をすべき

MNO A社
接続料：28万/10Mbps・月

MNO B社
接続料：20万/10Mbps・月

3GBプラン
990円/月

MVNO
3GBプラン
900円/月

異なる接続料をベースに小売競争

3GBプラン
990円/月

6. まとめ

① 料金近接について

- 当社プランは**LINEMO 3GBプラン**が該当

② 継続的な利用者の移行状況について

- **MVNO各プラン毎のMNOプラン別転出割合、及び数を提示**すべき

③ 当社と直接卸・接続契約関係のないMVNOからの要望

- 当該MVNOの原価と異なるMNOの接続料が検証対象となる点を踏まえ、
慎重な議論をすべき